



○森林機能評価基準の実践

文化創造機能 (人の心を豊かにし、文化をはぐくむはたらき)

市町村名		調査年月日	
林班		評価者	
※人と関わりのあるひとまとまりの森林を評価の対象とします。			

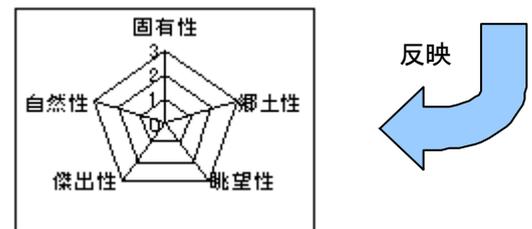
1. 5つの性質に分けて、得点化します

「野鳥がたくさん集まる」「巨木がある」「風景が美しい」といった、森林の“個性”を5つの性質（評価軸）に分けて、それぞれ得点に表します。
 (下の表の項目によって、それぞれ3点満点、最低点1点の点数付けをします)。

評価軸	評価するポイント	評価方法(それぞれ3点満点)	点数
こゆうせい 固有性	<ul style="list-style-type: none"> その地方にしかない種・群落・生態系がある 地名に由来する名前のついた生物がいる 地域あるいはもっと広範囲で減少しつつある要素がある 	道内に広く知られている(3点) 地元や愛好家に限られている(2点) 要素がない(1点)	
しぜんせい 自然性	<ul style="list-style-type: none"> 広葉樹林・針葉樹林・溪流など多様な自然が見られる 魅力のある植物群落を含む 野生動物の痕跡がみられる 	最低を1点として、 Yesの数だけ1点換算	
きょうどせい 郷土性	<ul style="list-style-type: none"> 古くから継承されてきた要素がある 地域の生活文化と関わりが深い要素がある 地域のシンボルとして親しまれる要素がある 	道内に広く知られている(3点) 地元や愛好家に限られている(2点) 要素がない(1点)	
けっしゅつせい 傑出性	<ul style="list-style-type: none"> 高さ、広さ、古さ、美しさ、特殊さなどの点において傑出している 	全道的に見て傑出している(3点) 地域的に見て傑出している(2点) それ以外(1点)	
ちやうぼうせい 眺望性	<ul style="list-style-type: none"> 人工物と森林の調和が取れている 多くの人の目に付きやすい 	最低を1点として、 Yesの数だけ1点換算	

2. レーダーチャート化します

1で得点化したそれぞれの評価軸の点数を右図に落とし、レーダーチャート化します。



3. レーダーチャートの形を型に当てはめ、総合評価します

上で図化したレーダーチャートの形を、下例の「対象森林にふさわしい利用」の5つの型と比較し、どれかに当てはめ、総合評価とします。

保全型

固有性・自然性・郷土性が高い

社会重視型

郷土性・眺望性が高い

自然重視型

固有性・自然性・傑出性が高い

景観型

眺望性・傑出性が高い

活用型

突出した軸がない

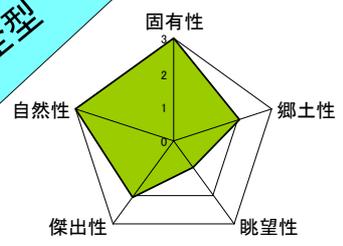
**対象森林にふさわしい
5つの利用の型**

※それぞれの森林の型とその森林の特徴をいかした活動については、裏面を参照してください。

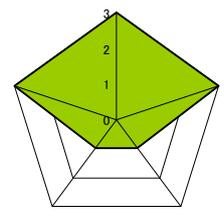
総合評価結果

○対象森林にふさわしい利用の型とその森林の特徴をいかした活動

保全型

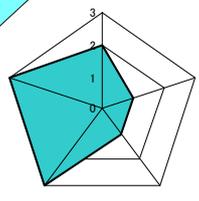


自然性・固有性が高い
なるべく保護区として保全するのが望ましい。山岳型スポーツの舞台としても利用されるが、活動には細心の注意が必要。

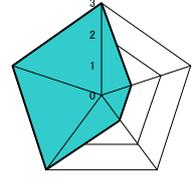


固有性・自然性・郷土性が高い
保護区として保全するのが望ましいが、一般的には利用者が多い。固有性を維持しながら、一定のルールのもとに、自然観察や郷土学習などの利用に供する。

自然重視型

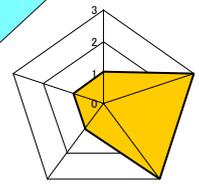


自然性・傑出性が高い
自然に触れることを目的とした活動(森林浴、自然観察など)やスポーツ(オリエンテーリングなど)に最適。

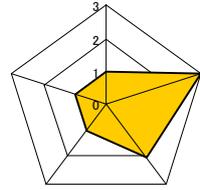


固有性・自然性・傑出性が高い
山岳型スポーツ等に向くが、固有性を維持するために、より細かいゾーニングを行い、立入規制や入場制限などが必要な場合もある。

社会重視型

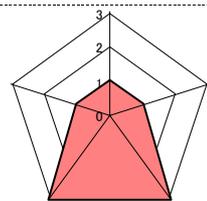


郷土性・眺望性が高い
郷土学習のほか、眺望性を生かして、風景撮影、絵画等の題材に向く。

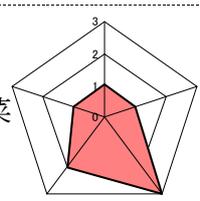


郷土性が高い
すでに利用度が高いことが多い。郷土性を生かした総合学習や遠足など。

景観型

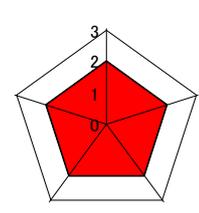


眺望・傑出性が高い
近隣の住人が日常的に利用する散策コースなど。山菜取りなどの採取型活動、採取型の体験活動にも向く。

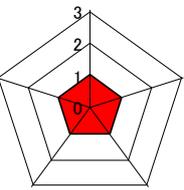


眺望性が高い
外から見た森林の美しさを生かした利用法、たとえばスキーやキャンプなどに向く。

活用型



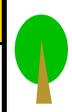
どの軸も中くらい
炭焼きや枝打ち・植樹などの林業体験や、市民による郷土山づくりの舞台として利用できる。



どの軸も評価が低い
文化創造活動の舞台としては、魅力に乏しい森林。整備すれば散策活動などが可能。

○評価ポイントの参考例

	参考例
固有性	・春国岱アカエゾマツ純林など ・アポイカンバ、オオヒラウスユキソウなど
自然性	・花の美しい植物等 ・キツツキ類の食痕や鳥の巣、動物の足跡など
郷土性	・遺跡、森を舞台とした伝承・祭事など ・道祖神、寺社林、御神木、銘木
傑出性	・大径木、巨木 ・樹木でアーチ状に形成されたトンネルなど
眺望性	・〇〇望岳台 ・湖沼などの景勝地を望む森林



「固有性」「傑出性」「自然性」の違いについて

固有性→その場所にしかない「自然由来の要素」
 傑出性→森林あるいは樹木に関わる傑出した要素
 (ただし人為など環境の変化にはそれほど脆弱でない要素に限る)
 自然性→上記2つ以外の自然由来の要素



? 評価方法の「道内で広く知られている」って、どんな判断?

- 「道内に広く知られている」
- ・その要素が世界遺産や北海道遺産に指定される(または候補となった)
 - ・北限の〇〇、南限の〇〇などとされている 等
- 「地元や愛好家に限って知られている」
- ・市町村の「花」や「木」に指定されている
 - ・市町村の観光パンフレットに掲載されている
 - ・地元の方や愛好家の方による保護活動がある 等